

釜ヶ崎漫画集

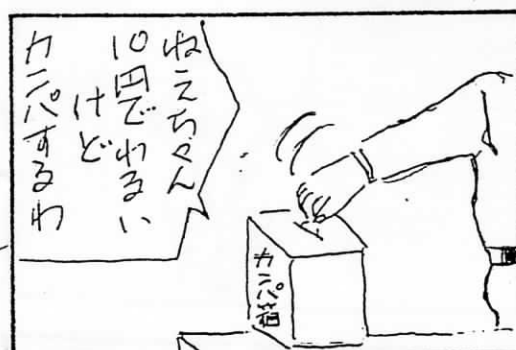




ままならぬ
仕組みの波に
流されて

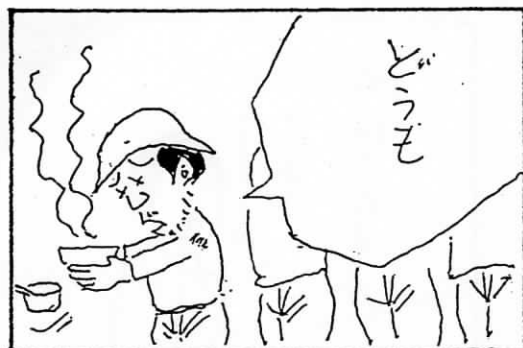


そこにぽりたされて
いるのは
おまへの死体ではないか



炊き出しも一っ
ちがえは
ごうまんに

アオカンの数かぞえ
いつやまる



自販機の釣銭
探す手に
蚊がさし

不平も言わす
腹をすかせ
命をすかせる

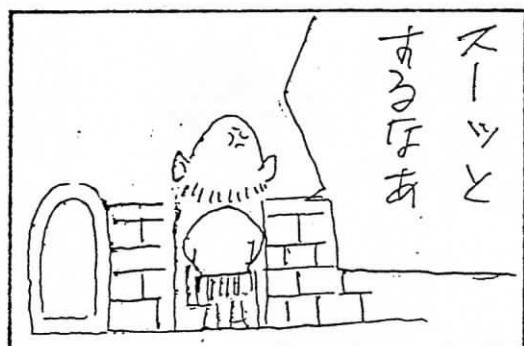


選ぱれぬ
行く着く先は
大和中央

保護費の中から
仕送る生活者







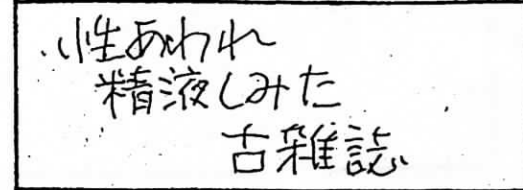
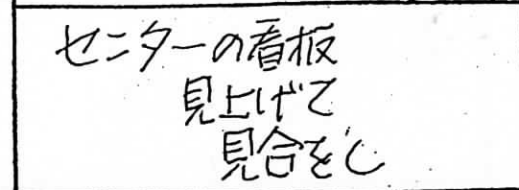
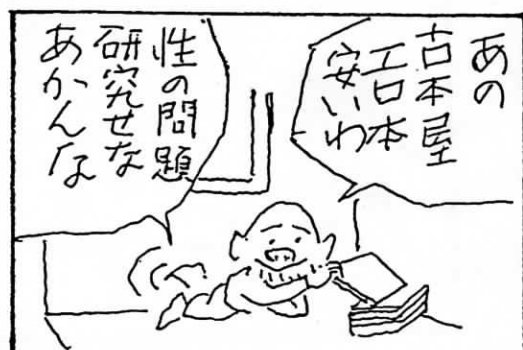
酒場のめざましならぬ
機能の性

口含ませる切れたつむりの
自傷のかけら

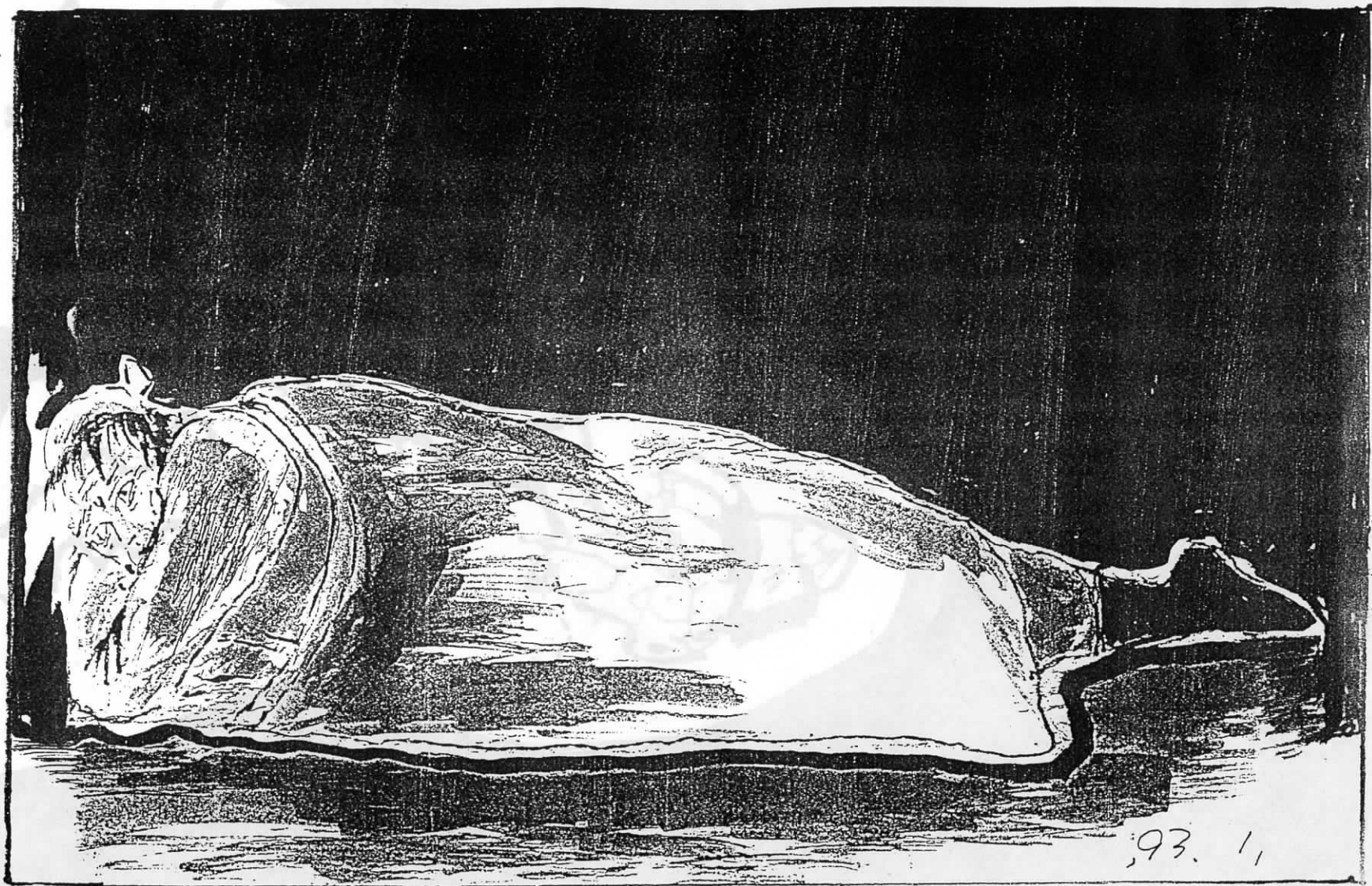


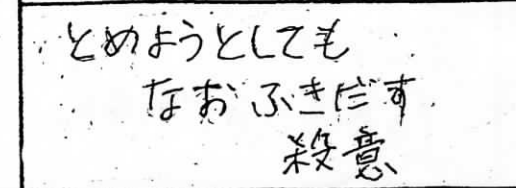
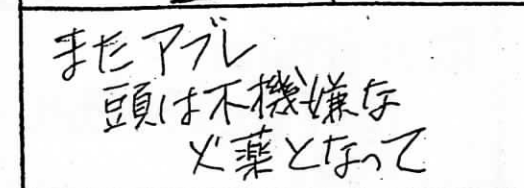
やめることそれも抵抗のうち個の拠点

金は程に離れを知りつつ行くこともない前人未踏
※IC保護室











凍てつく日
防寒着の直立不動

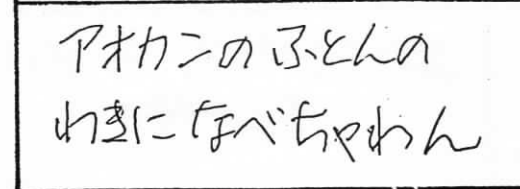
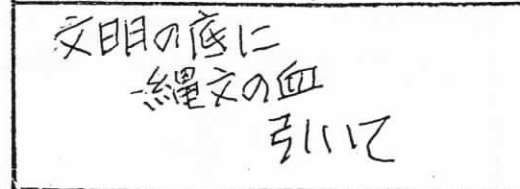
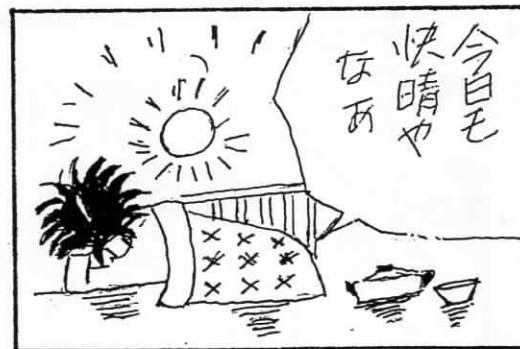
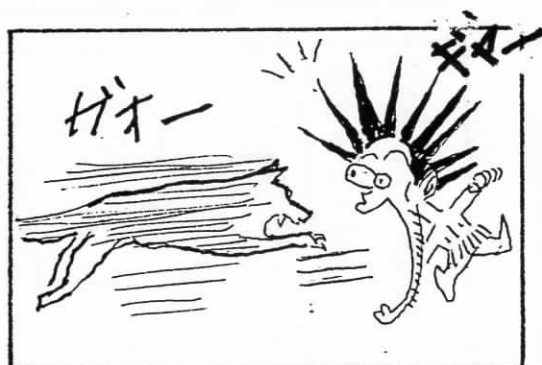
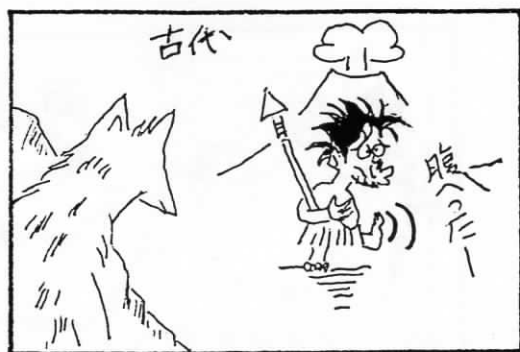
自らが仲間の
虐殺者となるおそれ
ぎやう

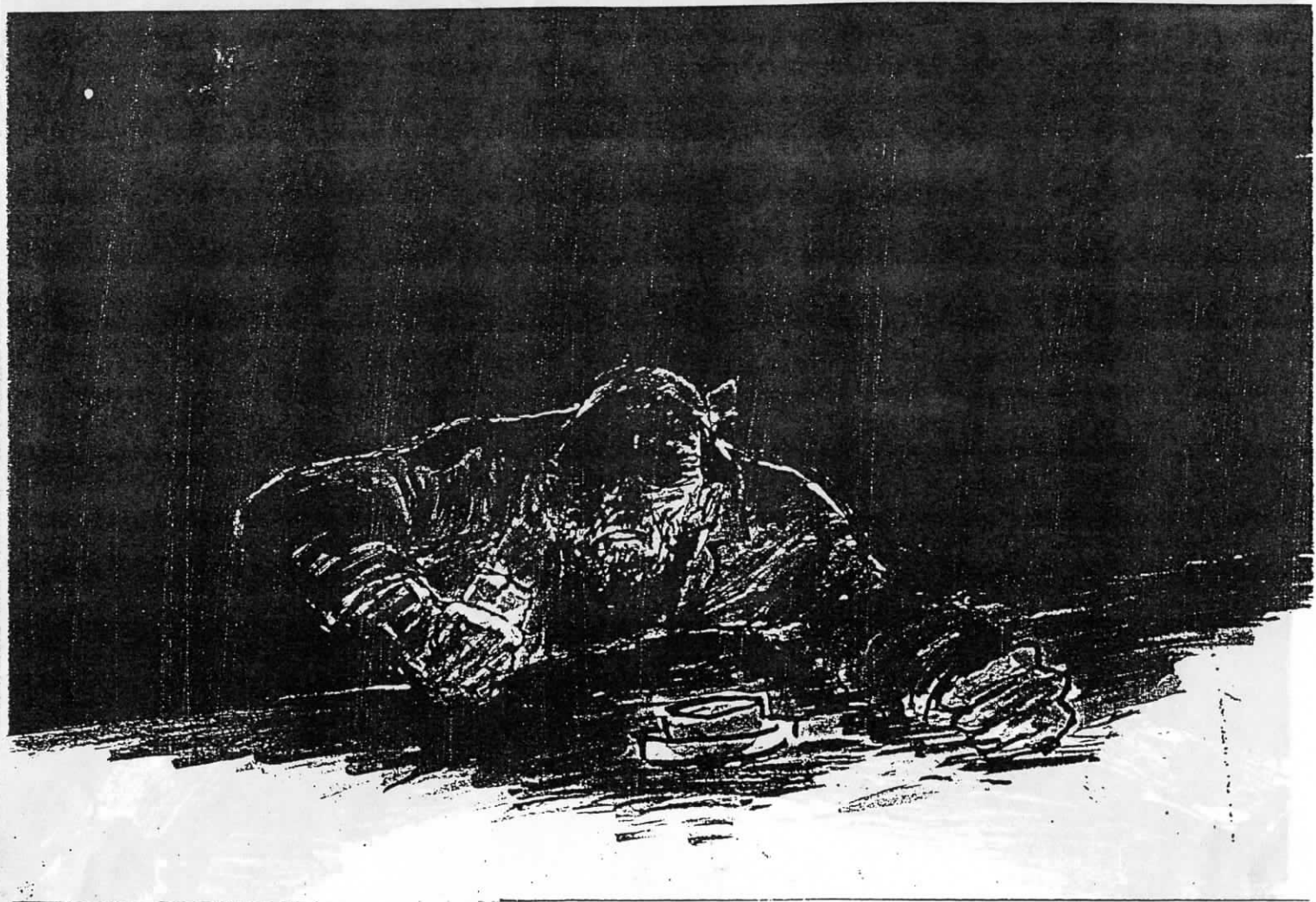


数と見るサア来い前へ来い
を人が聞く

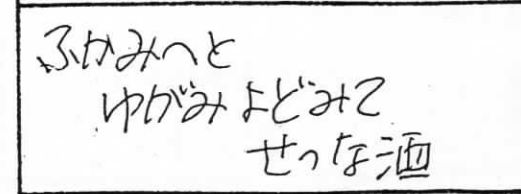
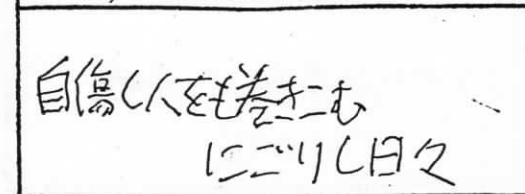
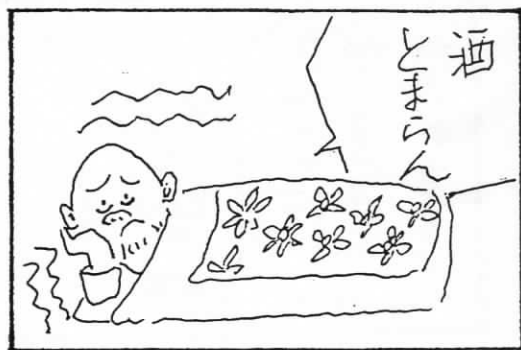
雨の日は借金持ちで
日が暮れる

日本はヤマト







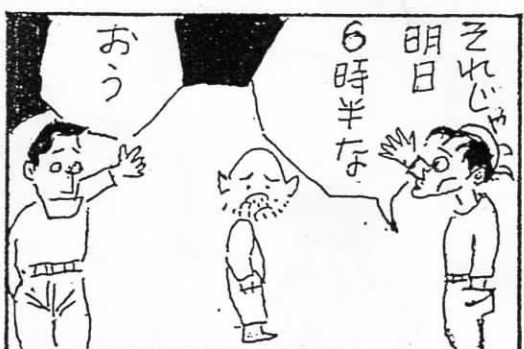




ハナハの意気くだけて
二日め



ゆれ動く
いったりきたり
酒の勝ち



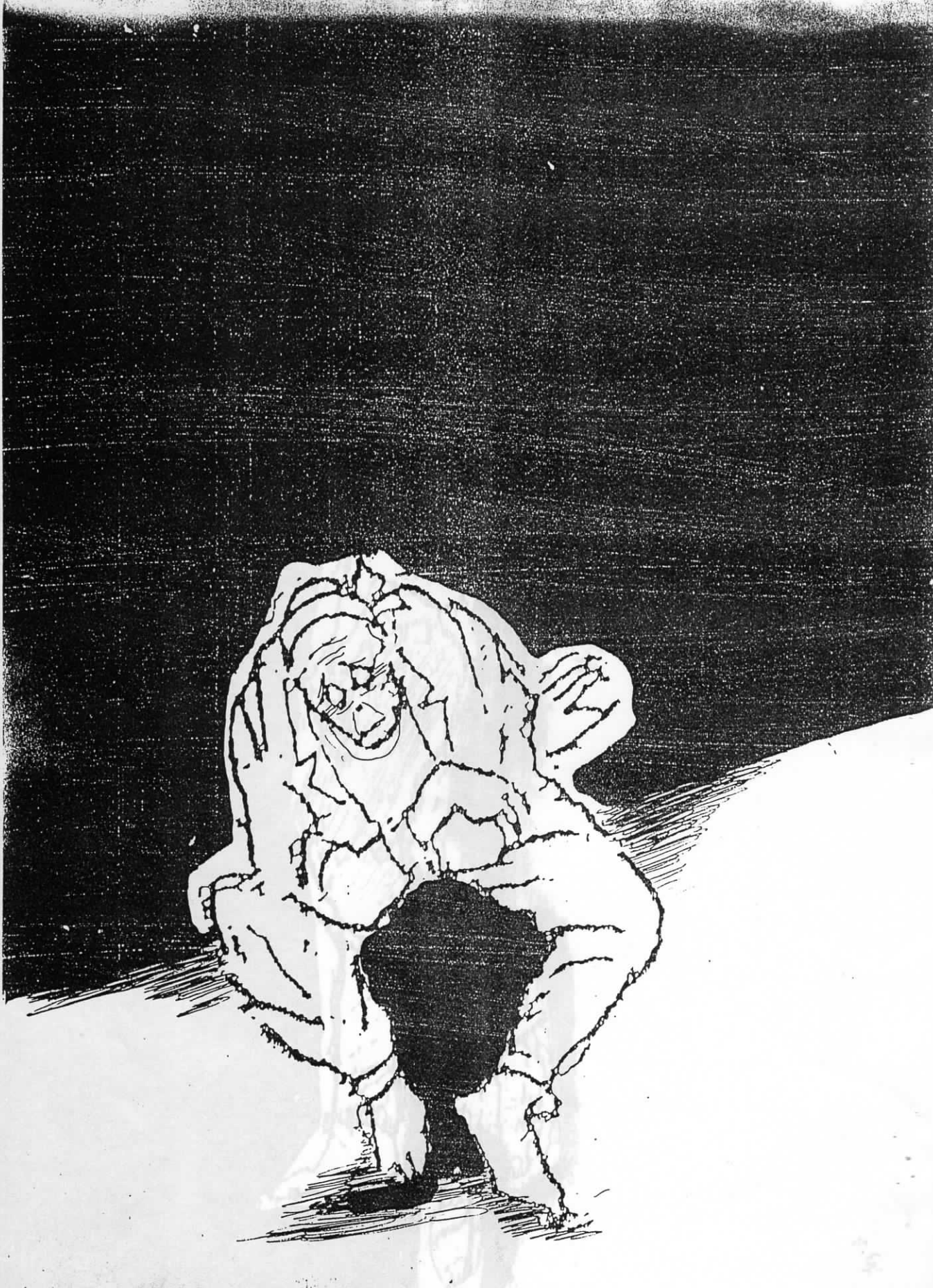
仕事がないというぐちだけで
酔いさへ冷たい風に
吹き消される

人うらやまし
病む身齒がゆく

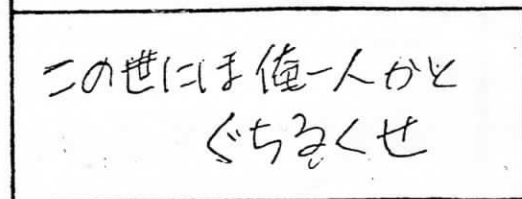
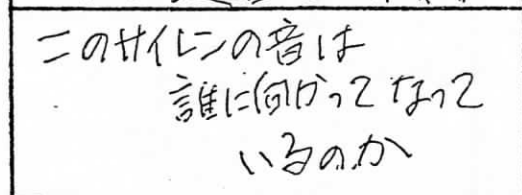
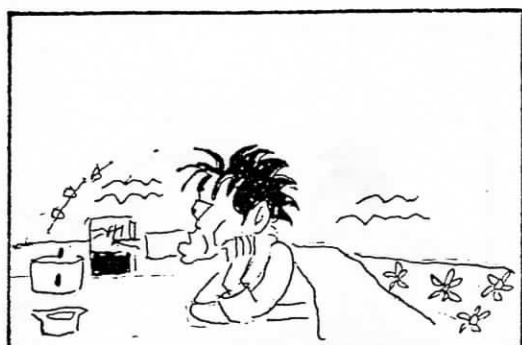
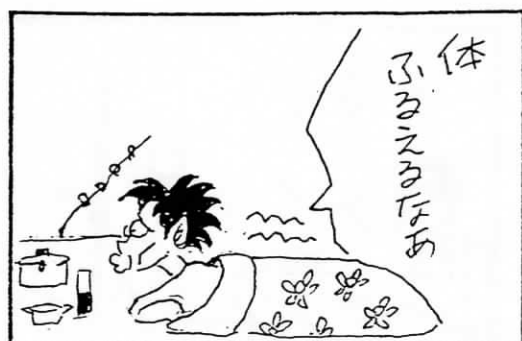


外食 外食 カップラーメン
飯場に家庭の味

ハチハチメラメラ
酔いとれたきり





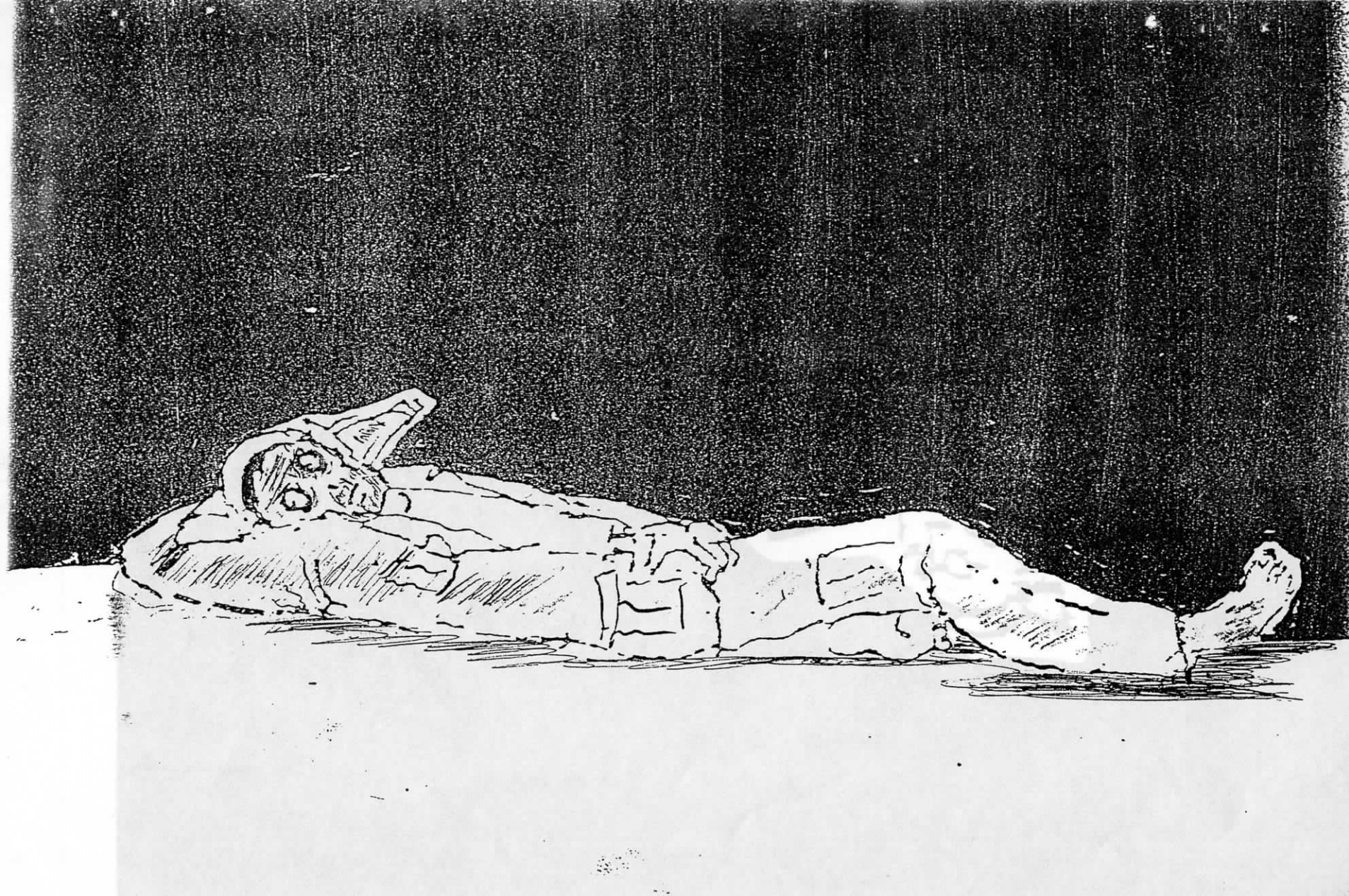


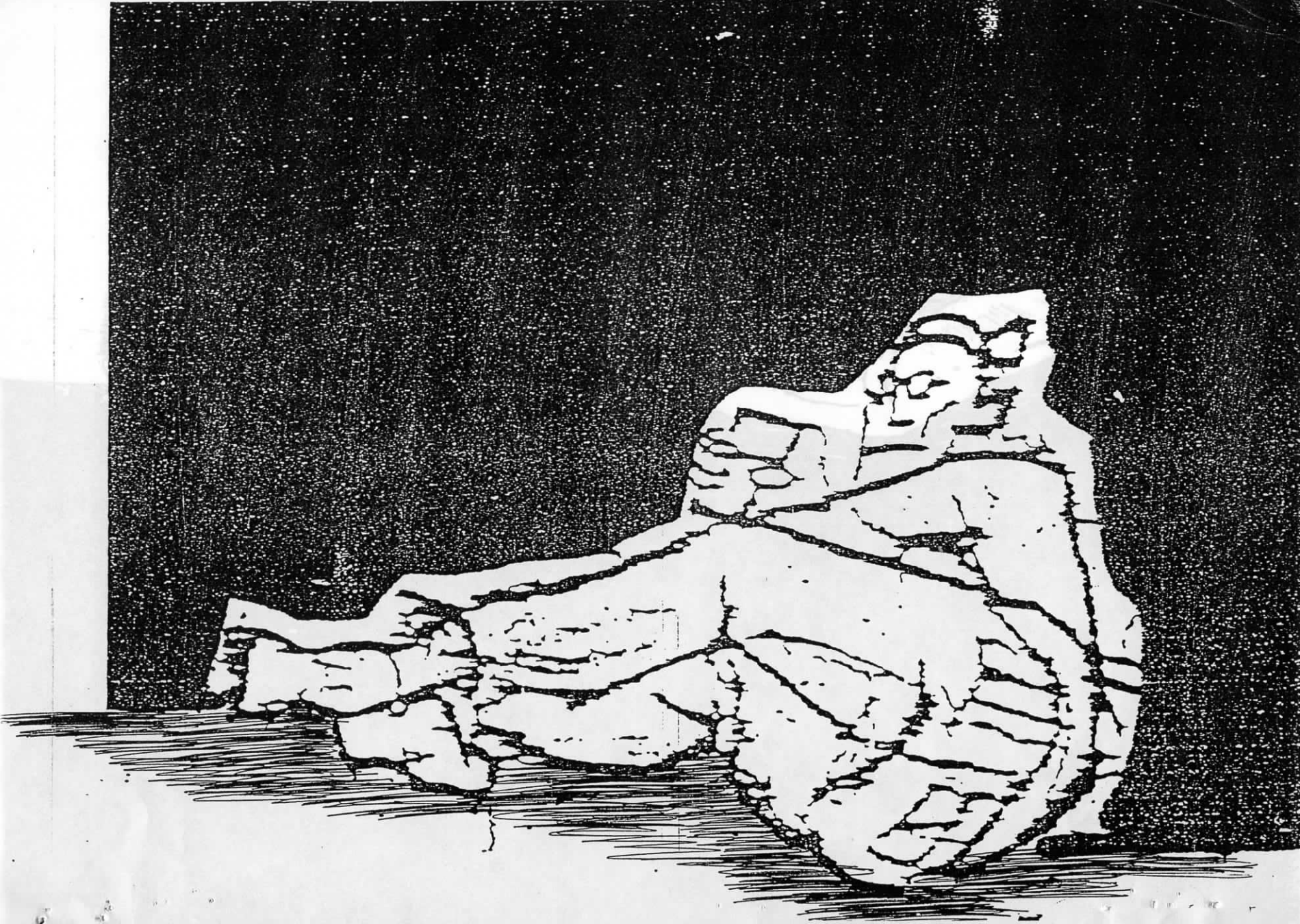


コーヒが沸き
ゆで卵が煮える
酒が日



病気も一つの生活力







作画・編集 相馬雅美